

巻 頭 言

『滋賀大学情報処理センターニュース』（Web版）の発刊に際して

情報処理センター分室長
近藤文良

『滋賀大学情報処理センターニュース』は2002年度まで冊子体の定期刊行物として16年間にわたって継続して発刊されてきました。

2003年度以降は冊子体での提供を改め、Web版の情報処理センターニュースとして発行を継続していくこととなりました。冊子体での発行の良さも十分理解した上で、このような形式を採用することにしました理由は、いち早く情報処理センターが提供するべき知識や技術を利用者に普及する必要性が増したことから、学内利用者だけを対象とした記事ばかりでなく、市民にとっても有益な記事を掲載して開かれた大学作りに微力ながら貢献したいという思いがあるからです。

Web版とすることで編集のやりやすさも改善されるでしょうし、公刊までの時間的余裕も生まれるでしょうから内容面でも一層充実した記事が期待できます。さらには省資源化にも貢献できるでしょう。

2004年度から滋賀大学は国立大学法人として装いを新たにしますが、高度情報化社会で活躍できる人材の輩出のための教育・研究を支える情報基盤の充実を一層推進しなければなりません。情報処理センターは今後も刻苦勉励してその重責を果たしていく決意です。

今回新たに生まれ変わったWeb版『滋賀大学情報処理センターニュース』が利用者や市民への橋渡し役を担ってくれることを祈念したいと思います。

最後になりましたが、各位のご支援を今後もよろしくお願い申し上げます。